

事業所向け自己評価表（令和5年度版）

事業所名：社会福祉法人 和音の郷 放課後等デイサービス どれみ

記入者氏名：嶋田沙希

評価日：令和6年2月22日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○			新型コロナウイルス感染対策として、人数に応じて部屋の使い方や活動に工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			子どもの状況に応じて基準より多く職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関にはスロープ、手すりを設置している。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			会議の機会をできるだけ多く設けるよう努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価表の集計結果を保護者に配布し、得られた回答を業務改善に繋げるよう努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			施設の入り口への掲示、事業所連絡会にて報告をしている。また、ホームページでも公開をしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			理事会、評議員会を開催し、その評価を業務改善に繋げている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内研修の開催や外部の研修への参加をしている。

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			本人、保護者からアセスメントを取り、職員間で課題を整理し、計画作成や支援に反映させている。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所独自のアセスメントシートを使用している。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で週単位で計画を立てている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日で固定している活動もあるが、その他の曜日は子どもたちや保護者からの要望を取り入れながら、課題に沿った活動を提供している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇ごとに個々の課題を設定し、支援している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の課題や集団での関わりなど、個々の状況に応じて計画を作成している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			全員が揃っての確認ではないが、その日の流れの詳細を記した日誌を基に、職員間で確認をしている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	毎日できていないが、翌日や会議の場で報告、周知を図るようにしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			モニタリング時にケース記録も活用している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に行い、その時点での評価を行っている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本活動を組み合わせながら幅広い支援ができるよう努めている。

	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			日頃から関わっている職員が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			年間計画を活用したり、月単位で下校時間を確認したりしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な子どもについては、体制上受け入れていない。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			引継ぎ会に参加している。家族、相談支援専門員、サービス利用計画を通して情報収集をしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援専門員に情報の提供をしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			山梨県立こころの発達総合支援センターの研修に参加した。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流はしていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域自立支援協議会（児童部会）に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			引継ぎ時やアセスメント時に情報を共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			相談があった時には、助言や情報提供を行っている。
保	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしている。

護 者 へ の 説 明 責 任 等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			引継ぎ時やアセスメント時に情報共有したり、必要に応じて面談や助言等を行ったりしている。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在は開催していない。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情の案内については、機関誌に掲載したり契約時に契約書に基づき保護者に伝えたりしている。今年度、保護者からの苦情はなかったが、苦情や意見があった場合には迅速な対応ができるよう努めている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			活動予定は、玄関に掲示したりお知らせにて発信したりしている。活動の様子は、機関誌やどれみ通信を通して発信している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③⑤	個人情報に十分注意している	○			個人情報の扱いには充分配慮している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードや筆談、面談、電話での対応等、伝達方法には配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	行っていない。
非 常 時 等 の	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者へは、年度初めにお知らせにて周知している。感染症や災害時の対応については、流行期や季節に合わせて今後も定期的に発信していきたい。また、防犯マニュアルについては、保護者からの要望に応じて閲覧できるようにしている。

対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		今年度は、毎月防災学習の活動を通して、地震や火災についての理解を深める機会を提供した。 6月と10月に地震を想定した避難訓練を行った。 2月には、避難確保計画に基づき、避難場所及び避難場所までの経路確認を行った。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止についての研修を法人内研修で実施した。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○ 現在、該当する利用児はいない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		指示書の内容について保護者に説明してもらったり、原材料の表示を確認したりしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例があった時には、職員会議にて共有している。